

「第 7 回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム」の開催について

- (1) 開催日時：平成 16 年 12 月 15 日(水)：一般向けプログラム
16 日(木)：専門家向けプログラム
17 日(金)：専門家向けプログラム
- (2) 開催場所：名古屋国際会議場（愛知県名古屋市熱田区熱田西町）
- (3) 主催：環境省
協力：環境ホルモン学会（正式名 日本内分泌攪乱化学物質学会）
- (4) 一般向けプログラム（案）
特別講演の講師は養老孟司氏
取組の現状は SPEED'98 改訂作業に関連して「環境省の取組」をとりあげる
パネルディスカッションは、環境教育法をも視野に「環境教育」をとりあげる
- (5) 専門家向けプログラム（案）
- セッション 1 基礎科学分野：長濱嘉考教授（自然科学研究機構）
・作用メカニズムなど基礎的研究、免疫系・神経系への影響について
 - セッション 2 野生生物分野：井口泰泉教授（自然科学研究機構）
・野生生物への影響、蓄積状況の把握等について
 - セッション 3 人健康影響分野：森千里教授（千葉大学）
・ヒトへの影響、胎児曝露等
 - セッション 4 曝露分野：田辺信介教授（愛媛大学）
・ヒトや生態系の曝露の現状と評価等
 - セッション 5 研究の最前線：米元純三総合研究官（国立環境研究所）
・今後の展開すべき研究分野
 - セッション 6 リスクコミュニケーション：中西準子センター長（産業技術総合研究所）
・内分泌攪乱化学物質のリスク評価の可能性と限界、リスク論等をもとに
リスクコミュニケーションのあり方や課題を整理する。
- スタディビジット 名古屋大学生物機能開発研究センター